大腸腺腫と鋸歯状病変に関わるDNA及びRNAの網羅的解析について

１．研究の対象

2010年1月1日から2019年12月31日に当院で大腸腫瘍（大腸腺腫、鋸歯状病変）に対して内科および外科で内視鏡治療もしくは手術治療を受けられた方

予定症例数：150例

２．研究期間

倫理委員会承認後～2022年12月31日まで

３．研究目的・方法

消化管腫瘍の発生・進展にはDNAやRNAなどの分子の異常が関連していることが報告されています。大腸腫瘍においても様々な分子異常が報告されていますが、大腸癌においては癌発生の発生経路は複数知られており、経路による特徴の差異が報告されています。そこで、DNAやRNA（メッセンジャーRNAやマイクロRNA）の全遺伝子情報に関する解析（網羅的解析）を行い、大腸腫瘍の発生・進展に関わる分子異常を明らかにすることが本研究の目的です。

内視鏡治療もしくは手術治療により切除された組織（細胞）の一部を用いて、DNAやRNAを抽出し、研究を行います。

４．研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、性別、病歴、内視鏡画像、病理検体番号　等

試料：内視鏡治療および外科治療で切除された組織（細胞）　等

なお、本研究に用いる情報や試料は個人が特定できないように匿名化を行います。研究結果の報告に際しても、個人情報が特定できないような状態で公表します。

本研究に用いた情報や試料は岩手医科大学病理診断学講座で研究期間中厳重に保管しますが、試料については研究終了後、責任をもって破棄いたします。得られた情報については研究上遡って解析が必要になる場合に備えるため、一定期間保管後、責任をもって破棄させていただきます。

５．研究費および利益相反

研究費は病理診断学講座の講座研究費を用いて行われます。本研究に関わる研究者は、利害関係が想定される企業等との経済的な利益関係（利益相反）はありません。

６．お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究事務局:　上杉憲幸
岩手医科大学医学部　病理診断学講座
〒028-3695　岩手県紫波郡矢巾町医大通 2-1-1
TEL：019-613-7111（内線 2392/2393）
E-mail：　nuesugi@iwate-med.ac.jp

研究責任者：岩手医科大学医学部病理診断学講座　　菅井　有